



広島県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
Victim Assistance Center of Hiroshima
公益社団 広島被害者支援センター

ニューズレター



〒730-0032 広島市中区立町1番24号有信ビル6F TEL082-245-6667 / FAX082-245-6668 URL: <http://www13.plala.or.jp/vach2-13/>

年頭のごあいさつ



呉市長 小村 和年

新年あけましておめでとうございます。
広島被害者支援センター並びに会員及
び支援活動員の皆様方におかれまして

は、日頃から犯罪被害者の支援に多大なご尽力を賜り、
心からお礼申し上げます。

本市では、平成16年に「呉市犯罪防止による安全
なまちづくり推進条例」を制定し、「誰もが安全で安
心して暮らすことのできるまちづくり」を推進してま
いりました。

しかしながら、犯罪被害者等の負担が深刻である
という状況を踏まえ、実効性ある支援策を推進するため、
「呉市犯罪被害者等支援条例」の制定や、本年2月に
オープンする新庁舎への犯罪被害者支援のための総合
窓口設置等を目指して準備を進めているところです。
つきましては広島被害者支援センターをはじめ、関係
機関等との一層の連携が不可欠と存じますので、引き
続きご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本年も、広島被害者支援センターの益々のご発展と、
皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年の
ご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

公益社団法人
広島被害者支援センター
理事長 山本 一 隆



新年明けましておめでとうございます。輝かし
い新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。
昨年県内において強盗殺人など世間を騒がせた
事件の発生がありました。そんな中、当センター
では犯罪被害者等支援第2期3年計画の最後の年
でもあり、基本方針の支援活動を中心に組み
込んで参りました。中でも「途切れることのない必要
な支援」に全力で活動をして参りました。お陰様
で被害者・遺族の皆さんの支えとなることができ
多くの被害者・遺族の皆様から感謝の言葉をいた
だきました。これも県、市町等の行政機関をはじ
め関係機関・団体及び会員や支援活動員の皆様
のご支援のお陰と心から感謝申し上げます。被害者
支援に携わる早期援助団体も全国各県に指定さ
れ、各センターが共通認識のもと連携しながら支
援活動する事が出来る体制が整いました。電話相
談から始まった被害者支援活動も、社会情勢が変
化する中で、被害者・遺族等のニーズも多様化し
て参りました。新しい年を迎え平成28年度から
は、犯罪被害者等支援第3期3年計画がスタート
します。当支援センターは、第3期3年計画に基
づき被害者・遺族等の多様なニーズに応えること
の出来る、きめ細かい支援活動を行うことに心が
けて参りたいと思っております。そして被害者・
遺族の皆さんが1日でも早く平穏な生活に戻る
ように支援を続けて行くつもりであります。今後
とも当支援センターの活動につきまして、ご理解
を賜り格別のご支援、ご協力をお願い致しまして、
新年のご挨拶とさせていただきます。

電話相談 **082-544-1110**

(継) 広島被害者支援センター電話相談

相談日 毎週月・水・木・土、第1・第3日曜日 10:00~16:00
(祝休日、8月13日から8月16日、12月28日から1月4日を除く)

相談は無料です。

相談の内容は、決して漏れることはありません。安心してご相談下さい。

広島県犯罪被害者等支援総合窓口

相談電話 **082-513-5255**

広島市犯罪被害者等総合相談窓口

相談専用電話 **082-504-2722**

警察安全相談電話

犯罪被害者
防犯に関する相談 **082-228-9110**

(フッシュ回線は局番なし#9110)

第9回 講演・シンポジウムを開催

12月20日（日）、公益社団法人被害者支援都民センター副理事長の飛鳥井望^{あすかいのぞむ}氏を講師として招き、「犯罪被害者等の心を支えるートラウマの理解とその治療ー」をテーマに講演会を開催した。飛鳥井さんは、「トラウマティックストレス学会」の初代会長で、災害・事件事故・DV・虐待など、悲惨な事態がもたらす惨事ストレスに関する精神医学的研究の第一人者である。

講演では、トラウマを「強い恐怖や不安を伴い、圧倒されるような精神的衝撃をもたらし、個人がその対処に困難を覚えるような出来事」と定義され、そのストレス反応に対するファーストエイドとして、安全の確保・保障、傾聴と共感、問題の焦点化を行うとともに、「異常な出来事に対する正常な反応である」と説明する心理教育が重要であると強調された。また、警察、弁護士、早期援助団体、自助グループなどによるチームレスな総合的支援が大事で、さらに心的外傷後ストレス障害（PTSD）が生じた場合には、専門家による心理的な治療が必要になるとされた。特に、近年は、トラウマ焦点化認知行動療法（TFCBT）の1つであ



講演する 飛鳥井 望 氏

るPE（曝露）療法が有効であることが分かっていて、被害者支援都民センターでは、東京都の助成を受けて実施され、顕著な効果をあげているとのことである。

また、家族や親しい人を失った遺族にも、被害者と同様に、PTSDを伴う遷延性悲嘆が出現することがあり、心理的ケアが必要であり、これには外傷性悲嘆治療プログラム(TGTP)が有効で、喪失への適応と新たな環境への適応により悲嘆の回復が行えうるとされた。

講演は90分に及んだが、具体的な事例と心理的な治療の詳細な説明により、受講者にとって非常に興味深く、多くの貴重な学びが得られたと思われる。

シンポジウムは、当センターの兒玉憲一副理事長（比治山大学教授）と内野悌司理事（広島大学准教授）の司会により「支援者の惨事ストレスの予防とケアの現状の課題」をテーマに進められた。シンポジストは、畠秀治氏（広島市消防局医務監）、原田修治氏（広島県警察本部安全相談課長）および戸田慶吾理事（弁護士）の3名で、それぞれの立場で救援支援の実態や問題、今後の課題等について報告が行われた後、基調講演の講師である飛鳥井望氏から述べられたコメントを軸に、全体討論が行われた。



熱心な討議が交わされたシンポジウム

バス・電車・タクシー及び病院等での広報活動の実施

協会をはじめ交通事業者及び総合病院等のご協力をいただき、公共施設やバス・電車内にポスターの掲示をしていただき広報活動を実施しました

<ご協力をいただいた交通機関・病院等> 広島電鉄株式会社（広島市）、広島バス株式会社（広島市）、広島交通株式会社（広島市）、広島高速交通株式会社（広島市）、芸陽バス株式会社（東広島市）、株式会社中国バス（福山市）、鞆鉄道株式会社（福山市）、備北交通株式会社（庄原市）、因の島運輸株式会社（尾道市）、本四バス開発株式会社（尾道市）中国ジェイアールバス株式会社（広島市）、おのみちバス株式会社（尾道市）、エイチ・ディー西広島株式会社（広島市）、宝塚タクシーグループ（広島市）、県立広島病院（広島市）、広島大学病院（広島市）、広島市民病院（広島市）、国立病院機構呉医療センター（呉市）、J A広島総合病院（廿日市市）、広島赤十字・原爆病院（広島市）、浜脇整形外科病院（広島市）、株式会社広島バスセンター（広島市）、JR広島駅（広島市）

当支援センターでは、今年度は年間を通じてラッピング電車・タクシーによる広報活動を行うと共に、被害者週間にあわせて自治体やバス協会・トラック

協会をはじめ交通事業者及び総合病院等のご協力をいただき、公共施設やバス・電車内にポスターの掲示をしていただき広報活動を実施しました

街頭キャンペーンにカープの選手参加

11月25日（水）午前7時30分、広島駅南口広場に広島県、広島県警察、広島市をはじめ第六管区海上保安本部や保護観察所等7団体約40名に広島市出身の広島東洋カープの岩本選手・藪田選手が参加して、約1時間街頭キャンペーンを実施しました。岩本・藪田両選手も通勤・通学客に対して声を掛けながらパンフレットやチラシ等の入った啓発グッズ2,500個を配布し犯罪被害者支援活動に対する理解と協力の呼びかけを行いました。今回は、カープ選手の参加もあって開始前からカープ女子が詰めかけ写真撮影をするなど、寒い中で大変盛り上がりました。



カープ選手の参加で盛り上がった街頭キャンペーン

行政機関の支援状況

県・市町等行政機関では、厳しい財政状況の中で被害者等の置かれている現状、支援の必要性・支援活動への理解を得、平成27年度も県・県警当局及び広島市、呉市、廿日市市、東広島市、大竹市、安芸高田市、江田島市、三原市、府中市、竹原市の10市に町村会及び海田町、坂町、熊野町と多くの行政機関のご支援をいただきました。本年も県民の皆様をはじめ被害者等に信頼され、安心して相談していただける支援センターの充実に努めていきたいと思ひます。

預保納付金活用の事業推進状況

平成25年度から助成が始まった預保納付金について、平成27年度も①団体の自立を目指すための財政基盤を支える仕組みを作る事業、②犯罪被害者等に関する相談、役務の提供等、犯罪被害者支援の充実等を図る事業、③犯罪被害者等支援の充実のため、支援状況等を調査研究する事業の3事業で9,040,000円の助成を受け、各種事業を推進して参りました。助成金により支援活動員のスキルアップを図る研修、また、よりきめ細かい支援活動を行うための情報管理システムを導入し相談情報の分析を進めているところであります。残された期間、助成金を有効活用し、被害者支援活動の充実を図って行きたいと思ひます。

平成27年度の支援活動状況

電話相談内容分類 ▶

殺人	7
暴行傷害	6
性的被害	59
D V	22
虐待	0
ストーカー	6
交通被害・事故	26
消費者問題	3
財産的被害	5
その他	93
問い合わせ	27
計	254

支援活動月別件数 ▼

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
電話相談開設日数	19	16	19	19	17	16	19	17	15	157
電話相談 件数	23	22	34	27	28	34	29	29	28	254
面接相談 件数	5	4	8	2	1	5	2	4	2	33
直接支援 件数	41	36	47	33	31	49	24	33	37	331
弁護士相談 件数	2	0	4	1	1	1	1	0	3	13
臨床心理士相談 件数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2

全国被害者支援ネットワーク理事長表彰・感謝状の授与について

全国被害者支援ネットワーク主催の「全国犯罪被害者支援フォーラム2015」が10月2日（金）東京都港区ヤクルトホールに秋篠宮同妃両殿下のご臨席を賜り開催されました。その席上永年にわたり犯罪被害者支援活動に尽力し、特に顕著な功労があったと認められる全国の犯罪被害相談員が表彰されました。



▲ 栄誉賞を授与される扇相談員

また犯罪被害者等早期援助団体の支援活動に関し、多大の協力及び貢献した個人・団体に感謝状の授与がありました。当センターでは、扇吉嗣相談員に「栄誉賞」が、また広島市安佐南区株式会社フローバホールディングス様に「感謝状」が授与されました。



▲ 感謝状を授与される株式会社フローバホールディングス様

第10期 被害者支援活動員養成講座を開催します

この講座は支援活動を行うボランティアを養成するもので、入門編・アドバンス編の全課程（60時間）を修了し、基準をクリアすると支援活動員と認定され、実際に支援活動を行っていただきます（有料）。入門編は被害者支援に関心があり勉強したいという方も歓迎です。開講期間は6月から約6ヶ月です。受講ご希望の方は事務局（082-245-6667）まで。



編集後記

平成27年度は、犯罪被害者等支援第2期3年計画の最後の年であり初年度に掲げた重点課題の達成を目指して取り組んで参りましたが、被害者等の置かれている現状を知れば知るほど被害者支援の必要性を再認識いたしました。新年に当たり、改めて被害者・遺族等の心情に寄り添い支援活動に力を注ぎたいと思います。

自動販売機の設置

広島被害者支援センターの支援活動資金の確保のため企業・団体等に対して飲料用自動販売機の設置について協力をお願いし、平成27年度は12月末までに被害者支援自動販売機4台の設置をしていただきました。ご協力いただいたのは、①呉市広白石「パーラー大学広店」（2台）、②呉市広白石「広ビクトリー」、③「江田島市役所江田島支所」です。

共同募金「社会課題解決プロジェクト」の参加について

犯罪被害者等の支援活動を支える経費は、企業、団体、個人の会費・寄付によるところが大了ります。その財源確保のため、平成23年度から実施している共同募金会と連携した募金活動「社会課題解決プロジェクト」に平成27年度も参加し、平成28年1月1日（金）から同年3月31日（木）までの3ヶ月間募金活動を行います。突然の不幸に見舞われた被害者・遺族の深い悲しみと厳しい生活環境等にご理解をいただき、被害者支援の募金活動にご協力をお願いいたします。



▲ “社会課題解決プロジェクト” 募金用紙

（鶴）広島被害者支援センターをサポートくださる賛助会員・寄付を募集しています

広島被害者支援センターは、会員の皆様のご理解とご協力に支えられて運営している団体です。犯罪や交通事故などの被害にあわれた方や家族の方への支援活動を財政面からサポートくださる会員を募集しています。

1 賛助会員とは センターが行う被害者支援活動の意義をご理解いただき、財政面での支援という形で事業に参加していただく会員をいいます。

2 賛助会員の種類と会費 賛助会員（年会費）は、
個人会員 1口 2,000円
法人・団体会員 1口 10,000円
口数に制限はありません。
その他、寄付も随時受け付けています。

3 振込み先 銀行をご利用の方
広島銀行県庁支店 口座番号(普通)3007871
加入者名 社団法人 広島被害者支援センター
理事長 山本 一隆
郵便局をご利用の方
口座番号 01310-6-57119
加入者名 社団法人 広島被害者支援センター

4 入会していただく 年2回発行予定の「ニュースレター」とシンポジウムや講演会の案内を送付します。

 本誌は、共同募金会の助成を受けて発行しています。